

新潟県議会議員

# 笠原よしむね

KASAHARA YOSHIMUNE

県政活動報告

新潟県議会議員 笠原 義宗

一步前へ。

新潟県の今とこれからの動きを伝えます。

平成29年度新潟県一般会計予算

# 1兆2,548億万円

平成29年2月定例会閉会  
**通常予算決定!**

よしむねの一般質問を掲載(抜粋)  
いたします。

## 歳出総額

議会費	1,420百万円
総務費	27,408百万円
県民生活・環境費	7,801百万円
福祉保健費	168,961百万円
労働費	3,026百万円
産業費	134,382百万円
農林水産業費	85,239百万円
土木費	146,717百万円
警察費	50,765百万円
教育費	185,492百万円
災害復旧費	7,663百万円
県債費	300,217百万円
諸支出金	135,369百万円
予備費	300百万円
<b>歳出合計</b>	<b>1,254,760百万円</b>

## 歳入総額

県税	258,098百万円	国庫支出金	142,972百万円
地方消費税清算金	79,565百万円	財産収入	3,965百万円
地方譲与税	40,362百万円	寄附金	3,052百万円
地方特例交付金	866百万円	繰入金	26,015百万円
地方交付税	243,700百万円	諸収入	156,866百万円
交通安全対策特別交付金	529百万円	<b>県債</b>	<b>278,232百万円</b>
分担金及び負担金	4,760百万円	繰越金	160百万円
使用料及び手数料	15,618百万円	<b>歳入合計</b>	<b>1,254,760百万円</b>

## 歳出のポイント

- 安全への責任を果たす取組
- 命と暮らしへの責任を果たす取組
- 教育への責任を果たす取組
- 雇用への責任を果たす取組
- 食と農を守る責任を果たす取組
- 住民参加への責任を果たす取組

よしむねチェック 中ノ口川関連河川改修 7億円

よしむねチェック 2 ビックデータを活用した健康寿命延伸プロジェクト **期待大**  
1,230万円

よしむねチェック 3 「あなたの婚活」応援プロジェクト  
1,380万円

よしむねチェック 4 AI・IoT活用ビジネス創出事業  
4,000万円

よしむねチェック 5 新潟の新しい米「新之助」デビュー戦略推進事業 **エーッ!?**  
2億8,400万円

よしむねチェック 6 いじめの解消及び未然防止等の取り組み 2億4,000万円

よしむねチェック 7 新潟県給付型奨学金支援金(基金を設置して奨学金に充当する!) 5億円

よしむねチェック 8 新潟県への移住・定住促進関連予算 **めざせ人口増!**  
3億1,000万円



よしむねの  
想い。

南区の皆さんこんにちは。笠原義宗です。私が県議会議員の席を頂き五年目を迎えました。県政を通して何かしら南区の皆様に残さなければと思っておりますが、地域の課題や将来に対して皆様のご意見をお聞きしながら自分の考えを形にし提案できるような一年として参りたいと考えております。昨年は米山知事と新しくなり県政においては大きく流れが変わった一年でもありました。知事が変わるとすぐ鳥インフルエンザが発生し約55万羽の殺処分を行ったことや、年末の12月22日に糸魚川の大火が発生し147棟が焼損をし今でも復興の途中であります。被害に遭われた皆様方にお見舞い申し上げます。災害はいつ私たちの地域を襲うやもしれない状況でもあり想定外はあるのだという意識を持ちながら県政を通して皆様方が安心して暮らしていけるように一層働いて参ります。新潟県議会二月定例会で県予算1兆2548億円を可決を致しました。最

大の課題は人口減少対策や地方創生など新潟県の魅力を高めて人を呼び寄せる施策に力を入れているところです。UIターンなど移住定住対策や「ハートマッチにいがた」という独身の男女をマッチングをし結婚を促す制度など進めています。二月定例会においては私も新潟駅から新潟空港までのモノレールを整備すべきとの提案をさせて頂いたところ。また農業分野では今年一般発売される新潟の新ブランド米「新之助」に力を入れていると共に、農業所得向上のための果樹や野菜など園芸にシフトするための予算を拡充しています。県単の農業補助金も三戸から一戸に制度が緩和されたので使いやすくなったのも大きな点であります。私たちが住む南区の公共交通やまちづくりに対しましても南区創生会議が発足され南区のビジョンを示し形にしていく動きも始まりました。今年度も国会議員・市議会議員の皆様と力を合わせて前に進める所存であります。皆様のご指導よろしくお願ひ致します。

**2月の定例議会では 笠原よしむね**  
**は23の質問を用意して、知事と関係各所に所見を伺いました。紙面の都合もあり、その中で主なものを抜粋してお届けします。**



このこと考えております。そのため対策の基本は、若者を新潟に引き留めるような政策ではなく、皆様から選んでもらえるよう、新潟県を暮らしやすく、子育てしやすく、学びやすく、働きやすい、総合的に魅力ある地とすることであると考えております。

そのためには、とりわけ若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境整備や、魅力ある教育環境の実現と雇用の場の確保に向けた施策を展開するとともに、役割分担を踏まえた連携のもと、各市町村の特色ある取組を支援するなど、地域の魅力向上に取り組み、新潟県の総合力を高めてまいりたいと考えております。



人口減対策会議

**Q 知事の政治姿勢について**

**A** 日本海横断航路問題については、知事が泉田前知事の路線を継承し、引き続き第三者的な立場をとっていたとすれば、今もなおその損失は拡大しており、最終的に県からの出資金の3億を超える損失が発生したと思われる。早期解決の判断に至った知事の考え方について伺うとともに、仮に和解しなかった場合、どの程度の損失が発生することが想定されていたのか伺う。

**A** まず初めに、日本海横断航路問題の早期解決の考え方等については、私が就任した時点では、既に第三セクターが韓国企業から提訴された状況であり、県は訴訟の当事者ではありませんでしたが、本件プロジェクトを関係者とともに推進してきたものとして、また、可能な限り出資金を守る観点から、県としても事態を早期に収拾することに より、これ以上の長期化を避けることを優先すべきと考えたところでありま す。

また、和解しなかった場合の損失につきましては、訴訟の展開によることから、その正確な想定は困難ではありま すが、今回、99万米ドルの支払いによっ て和解が成立したところであり、仮に

和解せず完全に敗訴した場合、151万1,734米ドル+1,781万2,599円 および年率6%の遅延損害金の支払いを命じられ、これに加えて多額の訴訟費用が発生した可能性もあるものと思われま す。

**Q 本県の人口減少対策について**

若者においては、自分の力を試し、磨くためにも新潟に引き留めておく政策よりも、一時、個々の能力が発揮できる場 首都圏だけではなく海外なども経験して もらい、ある程度の年代になったらふる さと新潟に帰り、新潟の為に力を貸し ていただけるようなそんな政策が望まし いと思う。今後は更に、本県に魅力あ る雇用の場を作ることや住みやすい環 境づくりなど、全国の中でも選ばれる新 潟になっていくことが大切であると思え る。人口は知事の成績表でもあると言 われているが、本県の人口減少に対し、 今後どのように取り組んでいくのか、知 事の所見を伺う。

**A** 議員ご指摘のとおり、若者は様々な 場で自分の力を試したいと考えることは 自然であり、その場として新潟を選ん で もらえることは望ましいことではありま すが、他県や海外を選ぶこともまた自然

なお、様々な価値観があることは当然の前提として、人口は幸福である場合において、自然に増加していくものと考えております。そのことから、人口は、知事の成績表であると同時に、社会全体の幸福度としての成績表でもあることから、新潟の幸福度を高めるために全力で取り組んでまいりたいと考えております。

**Q 県立高校の役割について**

県立高校は、部活動や校外活動などを通じ、地域と密着に関わっており、地域に活力を 与えるとい う重要な役 割を担って いると感じ ている。人 口減少を迎 えている中、 地方創生を 進めて行く 観点からも、 県立高校は 大事な地域の 基点という 役割を担え ると考える が、 知事の所見を伺う。



白根高校

**A** 生徒一人一人に確かな学力や専門的な知識・技能を身に付けさせ、将来において自己実現可能な力を育んでいくことが、すべての県立高校の重要な役割であると 考えています。そのためには、一定の生徒 数、適正な学校規模を維持し、教育の 質的な向上と学校の活性化を図ることは 基本であると考えます。

一方で議員ご指摘のとおり、県立高校 は、地域に活力を与えようとすると、地域 の連帯感の中核となっており、地域コミュ ニティにおいて重要な役割を担っているもの と思います。

大幅な生徒減が進む中で、生徒に質の 高い教育を十分に受ける機会を保障する ことと、県立高校の地域コミュニティに対 する役割にも配慮していくことが県政に 課せられた課題であり、私はバランスを とりながらこれを進めていく必要がある ものと考えております。

そうした中で、地元企業と連携して水 産分野の商品開発を行う海洋高校や、 地域の人材ニーズに応え、地元建設業協 会から専門的な技能の直接指導を受ける 塩沢商工高校など、市町村や地元企業 と連携し、地域の資源を活用した特色あ る教育活動が各校で展開されているとこ ろです。

今後ともこのような地域との連携を深 化させながら、学力向上や魅力ある学校 づくりが進められ、地域の活性化にもつ ながることを期待しています。

**Q 障害者が地域で元気に暮らせる施策について**

昨年4月、「障害を 理由とする差別の解 消の推進に関する法 律」が施行された。 行政機関等と事業者 に対し障害を理由と した不当な差別的取 扱いを禁じるととも に、行政機関等には 合理的配慮をしなけ ればならないと規定し



授産施設で加工された商品群

ている。今後、県としてもこの法律を踏 まえ、障害のある方々が生まれ育った地 域で元気に暮らせる施策を強化すべきと 考えるが、知事の所見を伺う。

**A** 議員ご指摘のとおり、障害者差別解 消法は、行政機関等に対し障害者への差 別の禁止と合理的配慮の提供を義務付け ることにより、障害のある人もない人も 共に暮らせる社会を目指すものでありま す。

現在、県では、法の趣旨を踏まえ、「障 害者への偏見と差別がない地域社会づく り」と「障害者が望む暮らしを送ること ができる地域社会づくり」を2つの柱と して、障害者施策の基本的方向を定める 新潟県障害者計画の改正を進めていると ころであります。

今後は、この計画に沿って、県民への啓 発活動の強化、地域社会を支えるサービ ス等の充実、教育・就労・文化などのあ らゆる分野における支援を総合的に展開 し、障害の有無によつて分け隔てられるこ となく、障害者が地域で元気に暮らすこ とができる共生社会を作ってまいりたいと 考えております。

**Q 県立病院の赤字縮減について**

本県は全国的に見ても多くの県立病 院を運営している。県では、公共として 担うべき、へき地・中山間地域での医療 や、三次救急医療、専門性の高い医療 など、不採算医療を提供しており、こ れらの政策的な医療に対し、毎年100 億円を超える予算を一般会計から繰り出 している。その上で、平成29年度病院 事業会計は赤字予算となっており、県立 病院として赤字の縮減に向け努力してい くことが必要であると考えますが、知事 の所見を伺う。

**A** 公立病院では、へき地医療や救急医 療、高度専門医療など不採算医療を担っ ていることから、法令等に基づき、それ らの政策医療に係る経費について、一般会 計が負担しているところでありま す。



# 平成29年度予算のポイントを **ピックアップ** します。

## ▶ 雇用への責任

### 地場産業技術・技能承継支援事業

- 後継者が不足している産地企業の技術・技能の承継に向けた取組を支援 50,400千円

### セーフティネット資金(経営支援枠)

- 売上の減少など経営が悪化している中小企業に対して資金を融資 新規融資枠1,040億円

### U・Iターン創業加速化事業

- 首都圏等からU・Iターン起業や、県外出身で県内に在住する大学院生等の創業を民間等の関係機関と連携し支援 135,000千円

### フロンティア企業支援資金(グリーンニューディール枠)

- 新工ネ、省工ネ設備導入に必要な資金を融資 新規融資枠5億円

### AI・IoT活用ビジネス創出事業

- AI(人工知能)・IoT(モノのインターネット)活用の促進に向け、企業や大学等による研究会の開催
- モデル実証を拡充し、効果検証を実施 43,000千円

### 航空機産業参入推進事業

- 航空機産業の技術力・品質管理能力の向上支援、企業ネットワークの構築や人材育成等を支援 30,693千円

### にいがた産業創造機構事業推進費

- 創業・新分野進出や販路拡大など県内産業の高付加価値化を促進、海外での事業活動、受注確保や売上拡大に向けた取組を支援
- 県産品の販売、販路開拓の取組を強化 373,937千円



航空機産業への参入



大型クルーズ船

### 着地型観光支援事業

- 観光資源を活用した魅力ある観光地づくりの取組や、観光施設等の情報環境整備、北陸新幹線沿線地域での受入体制整備等を支援
- 新たに、地域固有の価値を高める広域的な取組を支援 40,446千円

### クルーズ船誘致推進事業

- クルーズ船誘致による賑わい創出と経済活性化を図るため、クルーズ船の寄港推進に向けた取組を推進 8,975千円

### 新潟空港アクセス改善検討事業

- 新潟空港アクセス改善に係る県の方針を決定するため、行政・経済界・交通事業者等による協議会を立ち上げ、空港アクセスの改善策を検討 8,120千円

### 新潟空港の利用促進

- 新潟空港の利用促進に向け、海外研修旅行等の促進や訪日旅行商品の造成支援に加え、ソウル線や上海線等のインバウンド誘客の取組を強化 70,759千円

### 海外市場獲得サポート事業

- 海外市場におけるマーケティング調査や見本市等への出展について件数を拡充して総合的に支援 170,000千円

### 外国人観光客誘致に向けた取組

- 本県の観光地としての知名度を向上させるためのメディア等を活用した宣伝広告、情報発信等を実施するとともに、旅行商品造成のための取組等を強化 101,255千円



海外市場サポート



香港のバスにラッピング広告(青森県)

## ▶ 食と農を守る責任

### 多面的機能支払交付金

- 農業の多面的機能の維持・発展のため、農業者等が共同で取り組む水路・農道等の保全や長寿命化の活動を支援 6,572,288千円

### 園芸産地発展サポート事業

- 産地が取り組む新規取組者確保対策や流通コスト削減への支援に加え、新たに果樹産地で新規取組者が早期に収入を確保できる体制づくりを支援 21,399千円

### 新潟スタイル園芸確立対策事業

- 稲作経営体の水田や水稲育苗ハウス等の既存経営資源を活用した園芸の導入・拡大を支援するとともに、新たに作業受委託体制の取組を支援 89,632千円

### 県産農林水産物販売力強化事業

- 首都圏で高く評価されているルレクチェ及び越後姫等のブランド化を図り、これを牽引役とした県産農林水産物の競争力向上を推進 18,048千円

### 県産農産物輸出促進対策事業

- 県産農産物の海外での販路拡大を図るため、香港、シンガポールでの新潟米の業務需要拡大等に取り組むとともに、輸出事業者育成の取組を促進 15,487千円



工場型の農業施設(脇坂園芸)



## ▶ 教育への責任

### いじめ等の解消及び未然防止等の取組

- いじめ等への対応のため、相談体制を強化
- スクールソーシャルワーカー等の配置を拡充するほか、電話相談に加え、メール相談窓口を設置 240,231千円

### 新潟県給付型奨学金検討費

- 給付型奨学金の創設に向け、制度設計等の検討を実施 6,133千円

### 新潟県給付型奨学金基金積立金

- 給付型奨学金の創設に備えるため、基金を設置 500,000千円

### 大学魅力づくり支援事業

- 県内大学等の魅力向上に向けた特色ある取組や定員増に向けた取組を支援 24,000千円

### オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

- 本県からオリンピックに出場し活躍できる選手の輩出に向け、強化選手やトップ選手の育成、選手等雇用企業への支援 31,500千円

### パラリンピック選手育成事業

- 2020年東京パラリンピックに向けた選手育成・障害者スポーツの普及啓発の取組を推進 8,038千円

### 全国障害者スポーツ大会選手支援事業

- 全国障害者スポーツ大会出場選手の支援・派遣 21,791千円

### 国民文化祭等推進事業

- 県内初となる平成31年度に開催する第34回国民文化祭に向け、実行委員会の立ち上げ、基本構想検討会議の開催等の準備活動を実施 7,177千円



## ▶ 命と暮らしへの責任

### 「あなたの婚活」応援プロジェクト

- 結婚を希望する方の婚活を応援するための様々な出会いの場の創出
- 新たに出会いサポートセンターの支部を設置 86,210千円

### 電子カルテの統合データベースの構築に向けた取組

- 医師が研究等に取り組みやすい勤務環境の整備を目指し、県立病院を中心とする電子カルテデータの統合データベース構築に向けた検討 6,771千円

### 看護職員就業支援等の取組

- 院内保育の運営支援やナースバンクによる再就業支援、新人看護職員研修に対する助成などを実施 135,338千円

### ドクターヘリ運航事業

- 平成29年3月就航予定のドクターヘリを含む、ドクターヘリ2機の運航経費を支援 501,849千円

### ビッグデータを活用した健康寿命延伸プロジェクト

- 医療ビッグデータ等を活用し、健康課題の地域分析を行い、健康づくり施策を検討 12,284千円

### 授産活動プロデュース事業

- 授産施設へのアウトソーシングの推進や新分野進出を支援
- 新たに農作業を指導する専門家の派遣や、収穫した農産物の販売等を行うマルシェ(市場)を開催 26,684千円

### 重度心身障害者医療費助成事業補助金

- 市町村が行う重度心身障害者医療費助成事業の対象に、精神障害者保健福祉手帳1級所持者を追加 1,538,128千円



2機目のドクターヘリ(写真は初号機)



医療現場を視察

## ▶ 安全への責任

### 3つの検証を総括する委員会の設置

- 福島第一原発事故及びその影響と課題に関する3つの検証(事故原因、事故による健康と生活への影響、安全な避難方法)を行うため、個別の検証を総括する委員会を設置 3,598千円

### 広域河川改修費

- 災害の未然防止を図るため、計画的に河川整備を実施 7,630,264千円

### 消防職・団員確保推進事業

- 地域の消防職員・消防団員を確保する取組を強化 5,532千円

### 自主避難者への住宅支援

- 小・中学生がいる自主避難世帯を対象に民間賃貸住宅の家賃を補助
- 公営住宅への移転を希望する自主避難世帯に対し引越費用を補助及び県営住宅の修繕等を実施 40,383千円



平成23年7月新潟・福島豪雨時の小須戸橋(写真:新潟市)

### Profile

厚生環境委員会 副委員長  
議会運営委員会 委員  
自由民主党新潟県支部連合会 政務調査副会長  
新農業戦略対策特別委員会 委員  
自由民主党新潟県支部連合会 青年局 青年局長 代理

